

シルバー 人材センター会報

社団法人

流山市

シルバー人材センター

事務所

流山市東初石3-103-18

電話

0471-55-3669



会長 及川正一

秋風が、ここちよく感じる季節となりました。

今回は、皆様にうれしいお知らせをいたします。それは、去る六月二日開催された、千葉県シルバー人材センター協会総会の席上、優良シルバーとして当センターが佐倉市及び習志野市と共に、県シラ表彰されました。これも偏見に皆様方のご協力のお陰と感謝申し上げます。

さて、本年度も早や半年を過ぎようとしております。当センターの事業収入は、前年に比して若干減少しておりますが、経済の不況も、やや明るい兆しが見えてきたとのことで、明るい希望が持てると確信いたしております。

安全就労については、機会あるごとにお願いしておりますが、既に一件の事故が発生してしまいました。安全には充分注意し事故0を目指してがんばりましょう。

今後とも、センターの理念である「自立・自立・共働・共助」の精神をもつて事業運営に努めてまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

いあいさつ

第23回通常総会

(平成七・三・二七)

会員総数 四一三名
出席者 一五〇名
委任状 一七九名

ご祝辞を戴いた方々

流山市長 眉山俊光様
市議会議長 山崎調造様
県議会議員 館野晃様
県議会議員 北角虎男様

来賓のご紹介

流山市福祉部長 大山明男様
流山市高齢者福祉課長 須崎孝之様
流山市社会福祉協議会副会長 作田勇様

(1) 平成六年度補正予算案
について
(2) 平成七年度事業計画案

(1) 冒頭及川会長より、公
共は順調だが、民需につ
いては、開拓に一層の努
力を要する旨、挨拶がな
された。

(2) 大貫事務局長より、最
初に第一号議案の説明が
あり、可決。次に第二・
三号議案を一括して説明。
これに対し、余剰金の活

用を計るべき等、五件の
質問があつたが、了承さ
れ、約二時間で、閉会し
た。

(3) 平成七年度収支予算案
について
(4) 流山市勤労者総合福祉
センター

第24回通常総会

(平成七・五・三〇)

会員総数 四〇六名
出席者 一二〇名
委任状 一七七名

ご祝辞を戴いた方々

司会 久下招
市議会議長 及川会長
副議長 紅谷幸夫
議長 紅谷幸夫
議事録署名人 泉田大
塩島性一

来賓のご紹介

市長代理 大山福祉部長
県議会議員 北角虎男様
市議会議長 野口浩志様

(1) 平成六年度事業報告に
ついて
(2) 平成六年度事業計画案

二、概要報告

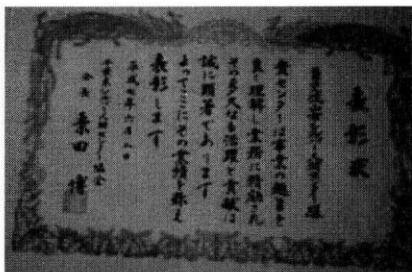
司会 小熊泰雄
監査報告 佐藤事務局次長
副議長 及川会長
議長 紅谷幸夫
議事録署名人 岩瀬茂
鶴丸貴美男

(1) 開会に当って、及川会
長より、本年度の目標を
会員数四五〇名、契約高
を二億五千万円に置くと
の、表明がなされた。
(2) 佐藤事務局次長より、

(2) 平成六年度収支決算に
ついて
(3) 流山市勤労者総合福祉
センター

用を計るべき等、五件の
質問があつたが、了承さ
れ、約二時間で、閉会し
た。

(3) 平成六年度収支決算に
ついて
(4) 流山市勤労者総合福祉
センター



第一・二号議案の説明があり、総会議案書の事前配布の要望等、六件の質問があつたが、答弁の上了承された。

(3) 第三号議案についてはセンター所長より説明、了承された。

(4) 犬養互助会長より、互助会の収支決算について報告、可決された。

約二時間で閉会し、午後一時間三〇分より交流会を開き、四十五名出席した。

- 一、実技講習会の開催
- 二、未就労会員の実態調査の実施
- 三、女性会員の就労対策
- 四、職群班長及び地区班長会議の開催
- 五、会員懇談会の開催
- 六、就労会員の増員
- 七、組織及び運営体制の充実
- 八、環境美化推進運動の展開
- 九、シルバーの日
- 十、安全就労の徹底化

平成七年度



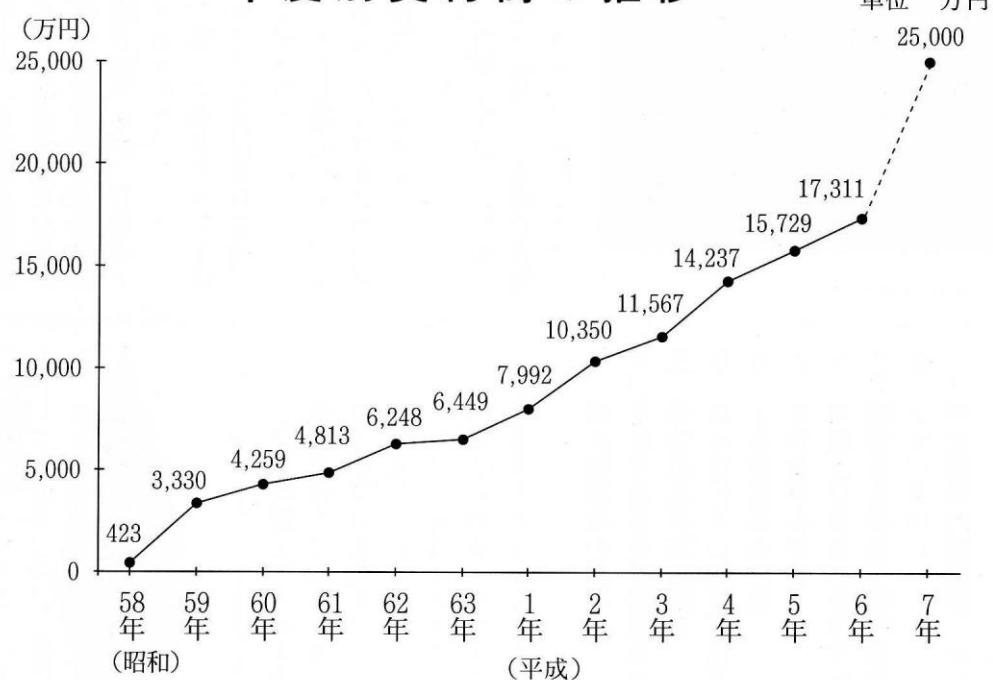
会員の経験と能力を生かし健康で働くことによる生き甲斐の充実と心の支えとなるシルバー人材センターづくりを図る本年度の事業計画を決定した

職群班長及び地区班長の交替・新設

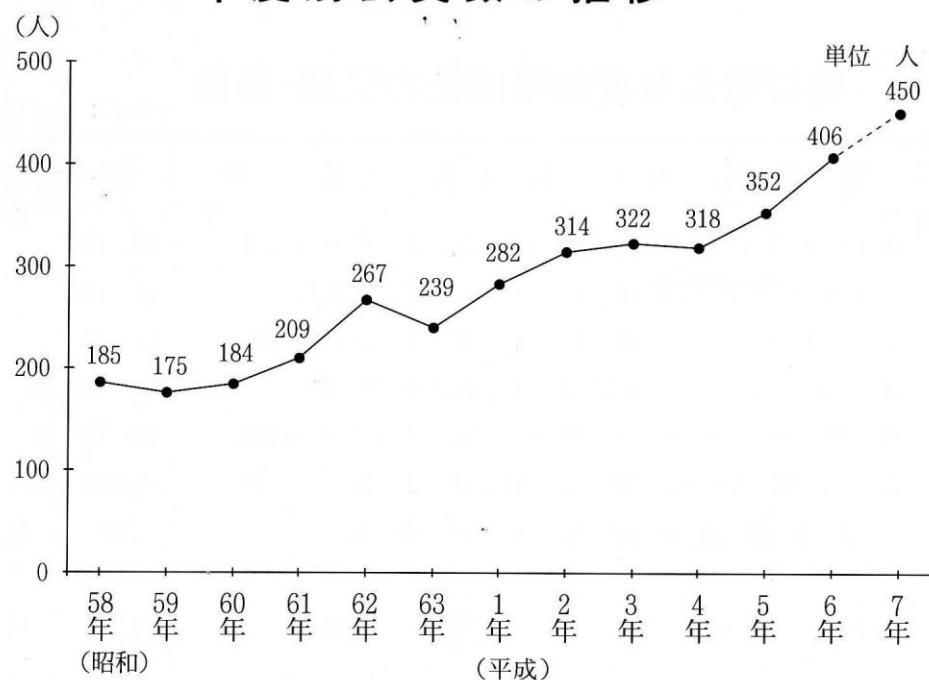
(平成7. 8. 1現在)

	勤務場所	新任者	住所	前任者
職群班長	江戸川台駅駐輪場	渡辺 勝美	江戸川台東	黒沢嵩進
	平方自転車保管場所	戸田 宏	若葉台	水川実
	文化会館	倉沢淳夫	江戸川台東	染谷豊春
	北部公民館	白川源之進	平方	加瀬一雄
	勤総センター	川又継夫	江戸川台東	塩島性鐵
	流山駅駐輪場	黒川浪治	加	八木原規
	一茶双樹記念館	染谷実	谷	(新規)
地区班長	2区(東深井)	塩島性一	東深井	(増員)

年度別契約高の推移



年度別会員数の推移



職群班長會議

6月19日(日)出席33名
(36名中)

出席者の自己紹介、新班長の紹介後、会議に入る。

久下沼副会長挨拶

日常業務上の、問題点や意見などを、活発に発言して、協調の心を保ち乍ら、当シルバーセンターの発展に寄与されることを、お願ひする。

犬養互助會長挨拶

複雑な社会環境の中で、奉仕の心を忘れず、第二の人生を生き抜こう。その為の健康と安全を、徹底してゆきたい。

〈意見・応答〉

未就学者が多い 又 酔置転換には、適材適所など、
充分な配慮を願いたい。

A 未就労の問題については大事な問題として、対処しているが、各人の意欲に、期待するところが大きい。ご協力願いたい。

Q 福祉会館に於て、職員の都合による、勤務の代行は

A 従来からの、慣例的な個

としては関知しない。当方

Q 萤光灯など、危険の伴う

ことがある。

A 常識の判断に待つが、基

関係課に連絡されたい。

○ 総合運動場の I5 機関車試乗の安全について。

子供の利用が多く、又時間

〔その他の発言〕

が守られない、安全上に問題がある。

- A** 安全対策の明確化を、関係課に申しつけよう。各職場の工具類は、充足されていてある。

Q 市の職員と同じく、丁寧な態度で、人に接しよう。自転車保管所の、勤務規定の配布を希望する。

○ 夜間管理施設での、長時

A 安全対策の明確化を、関係課に申請されてもお願いです。各職場の工具類は、充足されているか。
A 確保されていると思うが、整備につき、協力願いたい。

- A** 支障を來さない様、担当
課に申し入れをす。充が、円滑でない。

A 会館の事務用消耗品の補充が、円滑でない。
課に申し入れをす。

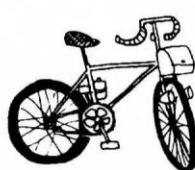
- シルバーの会員は、各人が事業主であり、雇用関係は存在しないことを、理解してもらいたい。

しておらいたい

○ 自分の仕事に意欲を持ち、

○ なミスを無くしよう。

○ 故に、注意しよう。
指差確認の習慣を、身につけよう。



地
区
懇
談
会

実施日	会場	司会進行	出席会員数	実施地区
七月三日(月) 二十四日(月)	平和台福祉会館 センタービルF	久下沼副会長 山田理事	二十七名 三十一名 (129)(123)名中	7・8・9・10
十日(月)	大谷理事	三十一名 (143)名中	4 • 5 • 6	7・8・9・10

及川会長挨拶

六月の職群班長会議に引き続き、三回に亘り、地区懇談会を開催します。今回は、あくまでも懇談会でありますから、形式にとらわれず、自由な発言を交換して、有意義なものにしてもらいたい。

Q 所属地区を、知らない人が多い。名簿で徹底を。
A 会員の変動の大きい時期の名簿の発行は、意味がない。予算上の制約もあることだが、作業は進めている。

Q 会員数と就労率、退会者の実状を知りたい。

A 本年四月末の在籍は、四〇六名であったが、今日現在は、三九四名に減少している。60才台の人の退会が多い。60才台の人の退会が多い。その理由であるが、止むを得ないことと受けとめている。就労率は、70%弱であります。

Q 当シルバーの仕事のPRに、問題は無いか。他のシルバーに比べて、見劣りがするとの見方もある。

A 流山市コミュニティ課等を通して、わかり易い資料を、各戸毎に配布している。微細な仕事でも就労して、実績を作つてもらいたい。会員数、受注高、就労率による各シルバーの評価基準が、次第に就労率を重視する傾向にある。

〈意見・応答〉

Q 就労率アップの対策について。

A 今後は就労の基準を、公

共の仕事については、一人当たり一件とし、民間については、一切制限をしないことをとした、ご理解願いたい。

Q 未就労者は、会員の資格を失うことになるか。

A 厳密に云うと、そうである。微細な仕事でも就労して、実績を作つてもらいたい。会員数、受注高、就労率による各シルバーの評価基準が、次第に就労率を重視する傾向にある。



- Q** 懇談会の出席者が少いのは、案内状が早過ぎたのではないか。マンネリはないか。
- A** 必ずしもそうは思はない。事務局でも留意してゆくが、皆さんの、前向きの姿勢を期待する。
- Q** 老人介護の仕事への進出は、考えていなか。
- A** 「流山ユ・アイネットワーク」の例もある。シルバーの特質を生かした企画をしてみたい。
- Q** 安全就労について、シルバーの姿勢を、伺いたい。
- A** 安全についての、自分の経験を、生かしてみたい。
- Q** 苦しい時代を生き抜いた同志が集まって、世間へ返礼の気持で、何等かの仕事に就く。それには先づ安全と、自分自身の健康である。今、工具、設備などの物質的面、安全規則の遵守、コミュニケーションの精神的面をふまえての「ビデオ」による安全教育を、検討し

- Q** 施設利用客の、モラルが低く、困っている。
- A** 誠意をもって、正すべきは正すしか、方法がない。これが、立派なシルバーマンションを作ることになる。
- Q** 市側から、短時間の勤務を要請があった時の対応は、通勤時間として、一時間加算することになつていて。用具資材等の運搬が、スマースに行つていい。
- A** トラックの購入は、早急には出来ない。当面、事務局も含めた、密接な連絡網で、カバーしてもらいたい。これが安全の基本でもあるので、是非お願ひをしたい。
- Q** 上げが出来ないか。
- A** 現状の、月末締切り、翌月15日支払は、ぎりぎりの線である。
- Q** 無理に締切り日程の変更などをを行うとすると、いろいろと支障が出てくるので得策ではない。

ている。

施設利用客の、モラルが低く、困っている。

寧な態度で、人に接しよう。が、特に公共の場合は、丁寧な態度で、人に接しよう。

中で、対策は無いか。気軽に立寄れる事務所の雰囲気づくりに留意しても

が、特に公共の場合は、丁寧な態度で、人に接しよう。

互助会より、十月に予定されている研修旅行の、よびかけ。

塗装部門では特に、後継者養成を痛感する。配慮願いたい。

機械技術者の、各部門への参加が出来るシステム作りを、検討してもらいたい。

市条例の適用除外となつ

☆—☆—☆

りたい。

○ 機械技術者の、各部門への参加が出来るシステム作りを、検討してもらいたい。

○ 塗装部門では特に、後継者養成を痛感する。配慮願いたい。

○ 全般に要望されることだ

が、特に公共の場合は、丁寧な態度で、人に接しよう。

○ 当シルバー事業推進の姿勢を、見直す必要がないか。

○ 塗装部門では特に、後継者養成を痛感する。配慮願いたい。

○ 全般に要望されることだ

が、特に公共の場合は、丁寧な態度で、人に接しよう。

○ 全般に要望されることだ



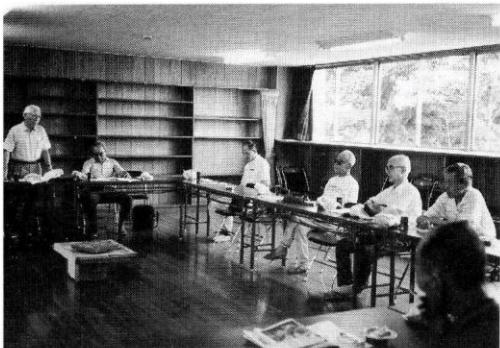
未就労者相談会

平成7・7・31 於センター一階

当センター会員の就業率は積年の努力により、70%台に達したところですが、もっと多くの会員の参加により、「喜びと生き甲斐」を得られるように、図ることが第一ということで、就労相談会を開催した。

一二〇名程度の未就労会員にご案内したところ、炎暑の影響もあってか、出席者は僅か八名で、内二名は、体調が悪いので、退会したいとの申し入れがあった。

及川会長、久下沼副会長はじめ、事務局幹部を交えて、熱心に個別相談の結果、三名の方が内定したことは、幸であった。



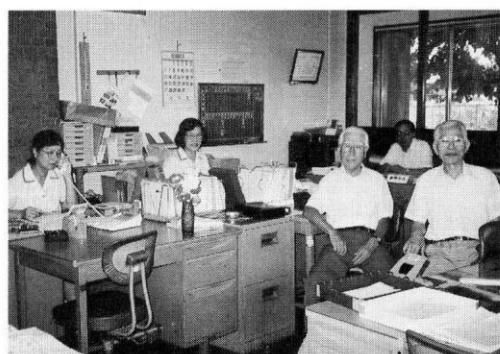
高令者の集団なので、種々未就労要因があることは、充分理解出来ますが、今後就労率を上げる為には、会員自身の意識の転換が強く望まれると共に、高令者にふさわしい仕事の開拓が課題となりました。

「とりあえず、一度でもいい、仕事をしてみよう!!」

職場めぐり

シルバーに入会して間もなく、私に会報編集の仕事が廻ってきました。矢継早に行はれた、四回に亘る懇談会

事務と現業、ひとと人との協調こそ、第二の人生を、良く生きんとするシルバー人の心ではないでしょうか。



事務局の紹介は、会報13号でも成されたのですが、現在、及川会長を始めとして、大貫事務局長、佐薙次長、そして庶務係・業務係の皆さんのが、始めてシルバーの門を叩いた朝、何かに爽かさを感じて。

私が、初めてシルバーの門を叩いた朝、何かに爽かさを感じて。
道標の無き雲海にピッケルが雲海に立つ一本のピッケル、
それは、私自身なのです。
(あいば)

共 働・共 助

江戸川台西 糸井妙子

去る、五月三十日のシルバー人材センターの総会後開かれた懇親会で、私は次のようなお願ひをいたしました。

それは、或る一人暮らしの高齢者（仮にAさん）が、アパートの一階に住んでおられ、四・五坪程の庭の雑草取りが困難なので、会員の方に低額で助けていただけませんか、と言うものです。

この方は、目・耳・足がご不自由ですが、出来るだけ他人や、子供に迷惑を掛けず慎重にお暮しで、いろいろ勉強させられる点が多いのですが、よくよく思い余つてのご相談なので、さて、どこにお願いしたらよいか悩み、交流会で発言いたしました。

さっそく、樹木伐採等に関わっておられる方（御二人）

が「私達が、休日に折りを見てやつてあげましょ。」と情をよく聞いて善処しますが事務所を通して下さい。」と暖かい助言を下さいました。

私も永年福祉ボランティアに携わり、多くの方の心配ごと悩みごとに接し、行政とのパイプ役をさせてもらっていますが、共働・共助を活用して解決の糸口を見つけるよう努力しております。

七月始め、Aさんを訪ねてこの話しをお伝えし、大変喜ばれ、「出来るだけの御礼をさせてもらいます。」との事で、現在、事務局が、お天気とボランティアの方との間を調整してくれている所です。

アパートの一室で、亡くなつたご主人の位牌に、朝晩掌を合わせておいでのおAさんも七月末に目の手術をされ、在宅福祉で、皆さんと助け合い幸せいに過ごされる事でしょう。

未就労対策について

若葉台 宮原昭三

私は定年後の基本方針として、「サラリーマン時代安心して生活できたのは家族は勿論のこと、地域の皆さんがあつてのこと、定年後は地域にお返しするということである」

そして生き甲斐として「他人に何かを奉仕する喜び」をモットーに充実した毎日を送つております。流山初代宮原は如何に生きるべきかを常に考えながら生活しています。まづ健康第一と心掛け、郭公・小綏鶏の啼く江戸川土手を早朝歩き、毎日曜日多勢の仲間のいる東深井古墳公園でジョギング・ストレッチ・更に『社交ダンス』を毎週やっています。

私はシルバーセンターで今までに『植木剪定・除草・部屋の掃除・農家の手伝・床下消毒・U字溝の掃除等チヨツ

トした仕事』でも積極的にやってきました。かつて近所の人をシルバーセンターに紹介したところ、未就労の方が多いと聞かされ、ガッカリして帰つてこられたことがあります。先づが私は就労対策としてこんなことを考えております。先づシルバーの組織を活用すること地区担当理事を中心として年2回位お茶のみしながら自分の中にはどんな方が居るかを

お互いに知る事、会長か事務局長が参加しお互いを知る事が先づ第一だと思います。次に会員の意識を知るために、アンケート調査をすることです。過去の経験からアンケートは会員の意識がよくわかります。近くの人が集まる事により趣味のクラブもできます。会員相互を知る事により、シルバーセンターは一層活性化されることでしょう。一つでも実行される事を望みます。

いい仲間と働く喜び

東深井 村上 旭

今年の春、皆様の仲間入りをさせて頂き、運河地区の自転車整理に就きました。

朝早く、元気な声をかけて駐輪場に集まる、年輪をきざんだ、頬もしい顔の仲間に交ってはたらく喜びに、新たな感激と生きがいを感じております。

何より嬉しいのは、シルバーセンターのシステムに「仕事を通じて仲間作りができる」という項目に魅力を感じて惹かれました。

友人の少ない私は、常々、人生で最も大切なのは、心の通う友と、楽しい仲間と一緒に仕事をする喜びだと思っておりました。

人材センターへ加入して、いい人たちに出会いこの念願が叶えられそうです。

友人と苦楽を共にし働くける喜び、ひとつの感動を共有できる嬉しさは、このうえもない、素晴らしい余生を得た思いです。

まだまだひとに負けない自信があります。「人生は六十から」という、嬉しい言葉があります。二十代の若者より六十歳の人に夢と青春があると私は解釈します。

年齢を重ねただけで人間は老いないものです。希望と理想を失ったとき、人は初めて老います。そして人は、いつもチャレンジ精神を持つていなければ心はしおみ、ただ死を待つ老人の姿になってしまふでしょう。自転車整理を始めた日、わたしの旺盛な時代を知る妻が「恥ずかしい」と言い、正直なところ自分も落ちるところへ落ちたか、との思いはいなめませんでした。

だが、過去はどうあれ高齢の身では現在をどう生きるか

が先決で大切なんです。

一茶双樹記念館

幸いシルバーセンターの仕事を得て社会復帰した気持ちになり、与えられた仕事を誇りを持て体の続くかぎり頑張ります。未熟者ですが、どうか皆さん、わたしが生きるために、よろしくご教導下さい。



交流会風景



定年後の生活

前ヶ崎 山田 清次

定年を迎えて今年で早くも5年を経過した。当時は全く自由な身になった想いで日々がバラ色であった。健康にも恵まれ、暇さえあれば若い頃から趣味としていたカメラを担いでは山野を駆け巡り、存分にシャッターを切りまくっていたものだ。

一方、定年後も嘱託として同じ職場に残る事が出来たのだが、丁度そこにパソコンが導入され始めその取扱いの必要性が生じて来た。

この歳ではとても無理だと思つたが自分にも少なからず興味もあつことから、講習やらマニュアルと首っ引きになるやらで、一年ほどかかるが、どうやら職場で必要な文書なり、統計事務をこなせようになって来た。

そんなこんなで目まぐるしく立ち廻わった3年間ではあつたが、心境の変化か突然勤めを止め毎日が家に居るという生活にかわった。

ところがその後、1、2か月たつうちに何か生活にむなしいものを感ずるようになつて來た。例へば、写真一枚撮つてもそれを見てくれる仲間がない、次第にカメラからも遠ざかるようになる。

時には、人との付き合いをなんとも煩わしく思つたことがしばしばであつたが、やはりそれはすごく大切なことなのだと、つくづく実感として味わつたのであつた。

何か社会に復帰して、自分の為にも生きがいを見い出さなくてはと思ったとき、シルバー人材センターの入会を思ひ立つたのである。

今、遺跡の発掘に携わっているが、再び充実した毎日である。

楽しく働く安全就業と事故の未然の防止を互に注意しましょう。

安全委員会会長 犬養吉胤

(1) 常に良好な健康状態で

作業をしましょう

(2) 通勤には充分に

余裕を持ちましょう

(3) 急いだりあわてたりしないように
(4) 服装や履物は動き易いものに
(5) 加齢による機能の低下を

充分認識しましょう

(6) 高所作業のヘルメットは

完全着用を

(7) 酒気を帶びての作業は絶対禁止

(以上)

事務局便り

会員の動き

(平成7・4・1～8・15)

◎旅行会(互助会主催)

会員の親睦旅行は左記のように決りました。

日 程
十月二十三日(月)
十月二十四日(火)
一泊二日

場 所

茨城県立公園五浦温泉
五浦観光ホテル

別館 大觀荘

多数のご参加をお待ちしております。
(詳細は後日改めてご案内致します。)

行事報告

五月十日 第一回役員会

一、平成六年度収支決算について

二、各委員会組織について

三、地区懇談会について

四、未就労対策について

五、技能講習について

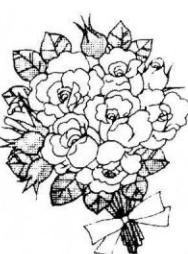
六、会員研修旅行について

退会員 頑張って下さい
六十一名
現会員数 三九九名

ご苦労さまでした
六十一名
三九九名

新入会員 五十五名

頑張って下さい



七月十七日 第一回理事会

一、地区懇談会途中経過について

二、会員の推移について

三、未就労対策について

◎技能者大募集
植木の手入れのご注文を沢山戴いております。剪定鋏に興味のある方は、お気軽にお相談下さい。

編集後記

編集室のメンバーがガラリと入れ代りました。糸井武雄さんは長い間編集の中枢としてお骨折り頂きました、本当に有難うございました。

今後共変わぬご協力ををお願いいたします。本号は久し振りに

部門毎の懇談会を主体に編集しましたので是非ご一読下さい。

編集委員長

山田 富雄

編集委員

相庭 泰雄

編集委員

安西 みつ江

編集委員

佐々木 一